

小型囲いわなによる シカ誘引・捕獲の向上と普及の推進 ～現地状況に対応した設置手法と普及～

キーワード： シカ捕獲、囲いわな、餌付け

1 開発目的

捕獲箇所周辺における植生状況等の調査や集積した動画等のデータを分析することにより、シカの誘引手法やトラップの改良など、捕獲率の向上に向けた対応を行う。

2 成果の概要

- ・ 捕獲試験から得られた誘引及び捕獲に関する情報や技術について、「小型囲いわなによるニホンジカ捕獲マニュアル」に集約した。
- ・ 餌付けによる誘引捕獲を行った。



写真1 タイプ7とタイプ8の小型囲いわな



写真2 タイプ8を軽トラックに搭載

3 成果の詳細

- ・ 技術・経験を必要とせず、「囲いわな」について、①軽量化（120kg以下で軽四トラックに搭載できる程度のもの）、②低コスト化（市販価格の1/2以下で50千円程度のもの）、③取扱のよさ（組立・解体が容易で10～15分程度で可能なもの）を目的として新たに開発。（写真1、写真2）
- ・ 小型囲いわなを使っでの捕獲手法について、「小型囲いわなによるニホンジカ捕獲マニュアル」に集約した。主な項目は、①捕獲試験参考データ、②設置場所の選び方、③設置方法、④誘引餌の撒き方、⑤わなの作動方法、⑥移動のタイミング、⑦入口まで来ているが入らないシカの対応策など。（写真3）
- ・ 広場のような場所を利用し、餌付けを行い、集まってくる頭数の変化を観察した。平成26年11月から開始して同月3頭、平成27年2月5頭、同年3月7頭と増加したところでネット囲いわなを設置したが、県道が通行止めとなってしまい餌付けが困難となった。その後同年5月から餌付けを再開、9月に捕獲を開始して計8頭を捕獲。（写真4、写真5）



写真3 「小型囲いわなによるニホンジカ捕獲マニュアル」（四国森林管理局森林技術・支援センター）

- ・ 最初に親子シカの捕獲があった。その状況を見た他のシカが警戒心を持ち、その後の捕獲は困難になると考えられたが、さらに6頭捕獲した。これは、長期間の餌付けによる結果と推察される。



写真4 餌付けに成功した7頭のニホンジカ（平成27年3月）



写真5 親子を捕獲した囲いわな

4 技術開発担当機関及び実施箇所等

- ・ 担当機関：四国森林管理局 森林技術・支援センター
- ・ 共同研究機関：森林総合研究所 四国支所
- ・ 実施箇所：四国森林管理局管内
- ・ 開発期間：平成27年度～平成28年度
- ・ お問い合わせ先：四国森林管理局 森林技術・支援センター、ダイヤルイン（088-821-2250）

5 参考情報

【四国森林管理局 Web サイト掲載情報】

[完了報告\(PDF:917KB\)](#)、[シカ捕獲技術マニュアル\(PDF:2829KB\)](#)